2027年3月期　第2四半期
業績説明会

2026年11月18日

電気興業株式会社

証券コード：6706（東証プライム）

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

このたびの棚卸資産の評価および関連する会計処理に関する
疑義が生じたことにより、決算短信の開示・半期報告書提出を
延期することとなりました。
株主・投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には、
ご心配をお掛けしておりますことを、
心よりお詫び申し上げます。

当社は、本件に関する説明責任を果たすため、
利害関係を有しない外部専門家で構成する
特別調査委員会を設置し、現在も調査を継続しております。

当社は特別調査委員会による調査に全面的に協力し、
調査結果を受領次第、速やかに公表してまいります。

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

事案の概要と今後の対応

■ 事案の概要

- 2026年9月16日付リリースのとおり、外部機関より一部の製品・仕掛品に関する棚卸資産評価損の計上時期について疑義が示されました

2026年3月期に計上した評価損の全部または一部を、過年度に計上すべきであった可能性

■ 現時点の状況と今後の見通し

- 本事案に対する特別調査委員会による調査が継続中のため、連結財務諸表への影響額が未定です
- 調査には一定の時間を要する見込みであることから、2027年3月期第2四半期決算短信の開示の延期と半期報告書の提出期限延長を申請し、承認されました

今後の見通し

2026年9月16日
特別調査委員会の設置を決議・公表

2026年11月16日
延期公表

2027年2月15日（予定）
2027年3月期第2四半期決算短信・半期報告書を公表

※ 調査結果を踏まえ、必要な会計上・経営上の対応を検討いたします。
※ 今後の予定は調査の進捗により変更する場合がございます。

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

配当について

■ 中間配当および期末配当予想の修正

- 特別調査委員会による調査が継続しており、適正な分配可能額および決算数値の確定に時間を要する状況にあります

- 2026年11月16日付リリースのとおり、2026年9月30日を基準日とする中間配当を行わないこと、ならびに2027年3月期の期末配当予想を未定とさせていただきました

※2027年3月期中間配当実施においては2026年3月期計算書類の確定が前提であり、特別調査委員会の調査が継続していることから、中間配当は無配といたしました。

■ 配当方針

- 資本効率の向上と株主の皆様への利益還元を重要な経営事項と認識し、下記配当方針のもと配当を実施

- 配当方針に基づき、中間配当で予定していた分も含めて期末配当にて還元する方向で検討

・連結配当性向40%を目途に当該期の業績に連動
・連結株主資本配当率（DOE）2.5%を下限値の目途とする

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

本説明会の位置づけ

足元の事業の進捗や業績状況についてお伝えする「業績説明会」としての開催

■ 本日ご説明する内容

本事案以外で当社が認識している2027年3月期第2四半期までの事業・業績・各種取り組みの進捗状況

- 本日の資料に掲載している数値は、いずれも現時点で当社が認識している事実に基づく「参考値」です
- 今後の調査の結果などにより、数値が修正される可能性がございます
- 確定した数値につきましては、調査が完了次第、改めて公表いたします

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期
業績説明資料

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

本日のハイライト

上期進捗（参考値）

- ✓ 前年同期比増収減益
- ✓ 電気通信部門は移動通信を中心に全般的に堅調に推移。高周波部門は誘導加熱装置の需要が一部回復し前年同期比増収
- ✓ 一時的な棚卸資産の評価の影響等で営業利益は微減

Plan2028 中計進捗

- ✓ 2026年5月に、進捗状況・事業環境の変化に応じて数値目標等をアップデート
- ✓ ３つの重点施策の取り組みを一層強化・推進することで、業績およびROEの更なる向上を目指す

トピックス

- ✓ 成長事業グループの取り組み
  （防衛設備事業の受注、AIソリューション、EV・HV向け新設備の展開など）
- ✓ 次期基幹システム刷新について
- ✓ 株主優待制度導入について

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

1　2027年3月期 第2四半期 連結業績（参考値）

2　中期経営計画「DKK-Plan2028」の進捗状況

3　トピックス

APPENDIX

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

1. 2027年3月期 第2四半期 連結業績（参考値）

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-1. 第2四半期 連結業績ハイライト（参考値）

- 売上高は前年同期比10.8%の増収。原材料価格の高騰に加え一時的な棚卸資産の評価の影響等により営業利益は微減
- 当期純利益は、第1四半期の特別利益計上等により大幅増益

（百万円）	26/3 上期実績	27/3 上期実績	増減額	前年同期比
売上高	14,914	**16,531**	1,617	10.8%
売上総利益	3,087	**2,909**	-178	-5.8%
営業利益	11	**-76**	-87	-
経常利益	-61	**153**	215	-
親会社株主に帰属する当期純利益	143	**1,535**	1,392	969.7%

【注】上記の数値については現時点で当社が認識している事実を踏まえた参考値となります。
各期の業績数値は、現在継続している特別調査委員会による調査結果や会計監査人の監査結果等により、修正される可能性があります。

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-2. 売上高・営業利益（参考値）

- 電気通信部門は、移動通信・防衛・放送が堅調に推移。一時的な棚卸資産評価の影響等により、増収減益
- 高周波部門は、一部顧客の設備投資需要の回復により増収増益

（百万円）	26/3 上期実績	27/3 上期実績	増減額	前年同期比
売上高	14,914	**16,531**	1,617	10.8%
電気通信	9,793	**10,818**	1,024	10.5%
高周波	5,062	**5,658**	596	11.8%
営業利益	11	**-76**	-87	-
営業利益率	0.1%	**-0.5%**	-	-
電気通信	796	**487**	-309	-38.9%
高周波	613	**788**	174	28.4%

※電気通信・高周波関連事業の営業利益はセグメント利益を記載しております。

【注】上記の数値については現時点で当社が認識している事実を踏まえた参考値となります。
各期の業績数値は、現在継続している特別調査委員会による調査結果や会計監査人の監査結果等により、修正される可能性があります。

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-3. 各セグメント業績｜電気通信（参考値）

各セグメント売上高

（百万円）		26/3 上期実績	27/3 上期実績	増減額 前年同期比	
再構築	移動通信	2,875	**3,509**	634 22.1%	5Gアンテナおよび700MHz帯無線装置、通信鉄塔など通信品質改善に関する設備投資需要が継続
再構築	固定無線	1,166	**903**	-262 -22.5%	緊急防災・減災事業債の期限により防災行政無線の需要が一段落。再延長に伴う需要の獲得を推進
成長	防衛	1,849	**2,215**	365 19.8%	防衛装備品を中心に、防衛費予算増額に伴う需要が継続し、引き続き堅調に推移
再構築	放送	1,287	**1,746**	459 35.7%	放送設備メンテナンス需要に加え、地上デジタル放送設備更新需要が増加傾向
導入期	ソリューション	125	**92**	-33 -26.5%	人流・交通分析システムおよび新規のAI電話対応システムを中心に、新規領域への展開を積極的に推進
再構築	その他	2,489	**2,350**	-138 -5.6%	鋼構造物の表面処理およびLED航空障害灯需要に加え、高層建築物への照明システム更新需要も獲得

中期経営計画「DKK-Plan2028 」では「市場成長性・魅力度」と「事業収益性」の2つの評価軸から事業ポートフォリオの再定義を行い、
9セグメントを下記の3グループに分類し、グループごとに異なる戦略で収益改善の取り組みを推進しております。

■ 成長事業グループ　■ 再構築事業グループ　■ 導入期事業グループ

【注】上記の数値については現時点で当社が認識している事実を踏まえた参考値となります。
各期の業績数値は、現在継続している特別調査委員会による調査結果や会計監査人の監査結果等により、修正される可能性があります。

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-3. 各セグメント業績｜高周波（参考値）

各セグメント売上高

（百万円）		26/3 上期実績	27/3 上期実績	増減額 前年同期比	
成長	誘導加熱装置	3,517	**4,067**	549 15.6%	自動車関連業界の設備投資需要が一部顧客において回復。自動車以外の需要も積極的に獲得
成長	熱処理受託加工	1,542	**1,572**	29 1.9%	自動車生産活動は横ばいで推移。国内外拠点の生産体制等の業務改善を図り、競争力を強化
導入期	高周波新領域	1	**18**	17 -	展示会でのPR活動および有償試作サービスを通じて積極的に新規需要を獲得

中期経営計画「DKK-Plan2028」では「市場成長性・魅力度」と「事業収益性」の2つの評価軸から事業ポートフォリオの再定義を行い、
9セグメントを下記の3グループに分類し、グループごとに異なる戦略で収益改善の取り組みを推進しております。

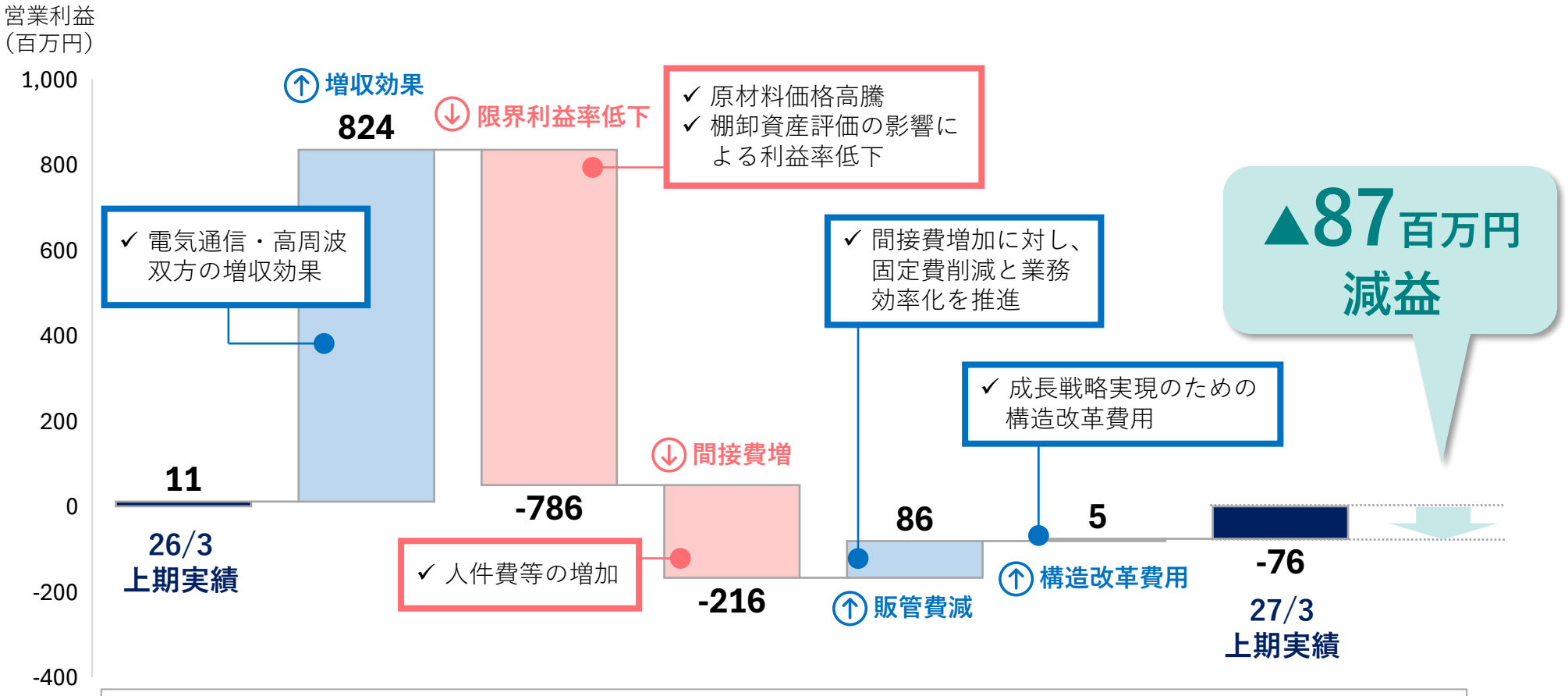
■ 成長事業グループ　■ 再構築事業グループ　■ 導入期事業グループ

【注】上記の数値については現時点で当社が認識している事実を踏まえた参考値となります。
各期の業績数値は、現在継続している特別調査委員会による調査結果や会計監査人の監査結果等により、修正される可能性があります。

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-4. 営業利益増減要因（参考値）

- 電気通信部門および高周波部門の双方で増収効果が発生するも、原材料価格の高騰に加え、一時的な棚卸資産の評価の影響等により限界利益率低下
- 限界利益率低下および人件費等の増加により、前年同期比87百万円の減益



【注】上記の数値については現時点で当社が認識している事実を踏まえた参考値となります。
各期の業績数値は、現在継続している特別調査委員会による調査結果や会計監査人の監査結果等により、修正される可能性があります。

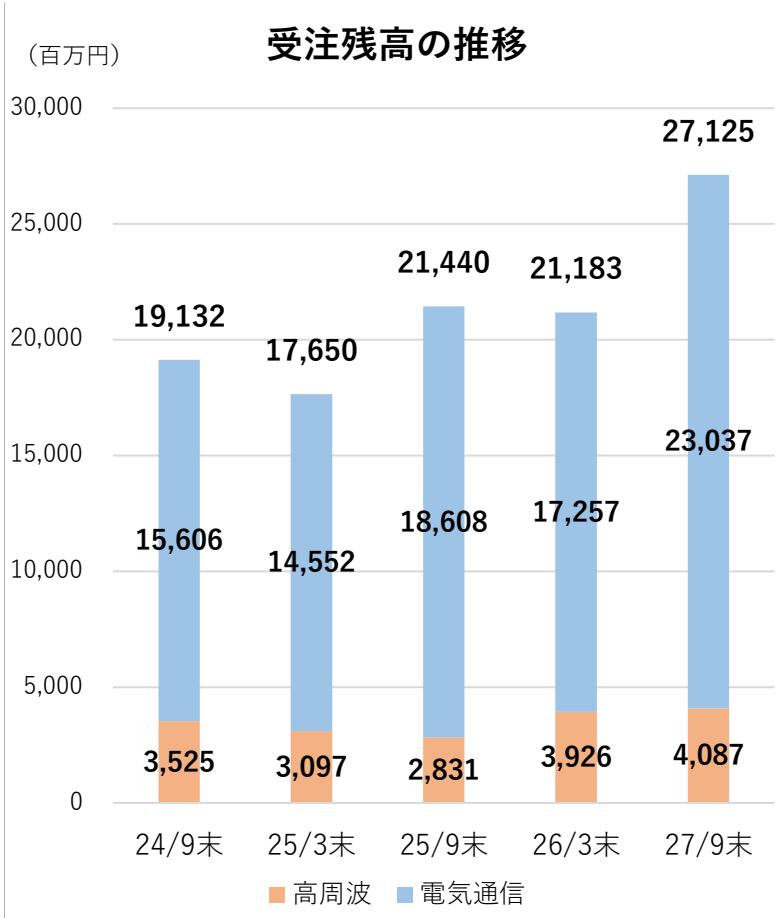
© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

1-5. 受注状況（参考値）

- 電気通信部門は、防衛と放送を中心に受注を獲得し、受注残高も増加傾向が継続
- 高周波部門は、誘導加熱装置需要を中心に前年同期を上回る受注を獲得

（百万円）	26/3通期 受注残高 ①	27/3上期 受注高 ②	27/3上期 売上高 ③	27/3上期 受注残高 ④＝①+②-③	増減額 ④-①	（参考）26/3上期 受注高	（参考）26/3上期 受注残高
電気通信	17,257	16,598	10,818	**23,037**	5,780	13,850	18,608
高周波	3,926	5,788	5,658	**4,087**	161	4,795	2,831
合計	**21,183**	**22,386**	**16,531**	**27,125**	**5,941**	**18,645**	**21,440**

※27/3期上期の売上高合計には、設備貸付事業・売電事業の売上高（54百万円）を含めております。



【注】上記の数値については現時点で当社が認識している事実を踏まえた参考値となります。
各期の業績数値は、現在継続している特別調査委員会による調査結果や会計監査人の監査結果等により、修正される可能性があります。

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 中期経営計画「DKK-Plan2028」の進捗状況

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

2-1. 中期経営計画の位置づけ

2025年5月、中期経営計画「DKK-Plan2028」開示

2031/3期の中長期ビジョンを目指すための、第2ステップと位置づけ

収益創出体制を確立させ、成長を実現

DKK-Plan2025 2023/3期～2025/3期	DKK-Plan2028 2026/3期～2028/3期	DKK-Plan2031 2029/3期～2031/3期
【強固な経営基盤の構築】	【成長の実現・加速】	【社会課題の解決と 持続的な成長へ】

2023/3期　2024/3期　2025/3期　2026/3期　2027/3期　2028/3期　2029/3期　2030/3期　2031/3期

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

2-2. 中期経営計画のアップデート

Plan2028の進捗状況　2026年5月開示

- 2026年5月には、基本方針および重点施策を維持した上で、現状の進捗状況や事業環境の変化を踏まえ、数値目標や事業別収益構成の見通しについてアップデートを実施

変更無し

- 基本方針
- 重点施策

基本方針　収益創出体制の確立による成長の実現

重点施策

1. 事業構造改革
2. 経営資源の最適化
3. サステナビリティ経営の発展

アップデート

- 数値目標
- 事業別収益構成
- キャピタルアロケーション

数値目標　営業利益　20億円以上　/　ROE 5%以上

成長投資による収益力強化を通じ、ROEを株主資本コスト超への引き上げを目指し、持続的成長を実現

事業別収益構成

成長事業	短期的な調整局面を織り込みつつ、中長期的な需要拡大と市場成長を見据え確実な需要獲得
再構築事業	需要の波に機動的かつ適正に対応し、収益改善に取り組みアップサイドを追求

キャピタルアロケーション　現状の進捗および事業環境の見通し変化に伴い見直し

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

2-3. 進捗状況①

重点施策 1 事業構造改革

事業/セグメント		Plan2028取組方針	2027/3期上期の主な実績
成長事業	防衛 誘導加熱装置 熱処理受託加工	再投資による更なる成長加速	● 防衛においては旺盛な需要を背景に、高水準の受注高を達成 ● 誘導加熱装置においては設備投資需要の回復を的確に捉え、既存顧客の深耕および新規案件獲得を推進 ● 協業・アライアンスを含めた新市場の開拓および新たな顧客ニーズの獲得に向けた取り組みを強化
再構築事業	移動通信 固定無線 放送 その他	事業の筋肉質化による収益性改善	● 移動通信では通信品質改善に向けた設備投資需要の継続と、放送ではV2X(※)向け周波数移行に伴う需要の獲得 ● 収益性向上の取り組みをさらに加速し、利益率改善を推進 ● 環境変化に即応した適正な価格転嫁と、製品ラインナップの絞り込みを実施 （※） V2X ：Vehicle to Everything（自動車と周囲の車両・歩行者・信号機・道路インフラなどが通信を行う仕組み）
導入期事業	ソリューション 高周波新領域	次なる収益の柱とすべく育成	● ソリューションでは従来の自治体中心の顧客基盤に加え、鉄道・商業施設などの民間企業への提案実績が増加 ● 高周波新領域では、ニーズに寄り添った提案により、事業領域の拡大を推進

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

2-3. 進捗状況②

重点施策 ② 経営資源の最適化

項目	Plan2028取組方針	2027/3期上期の主な実績
キャピタルアロケーションのアップデート	BSマネジメントによる成長の実現	● CCC改善に向けて、売上債権回転期間の短縮と在庫適正化を推進 ● BSマネジメントとして、資産を事業用資産、その他資産に区分し、その他資産の圧縮に向けて取り組み、成長に向けた投資へ活用 ● 中長期的な成長を実現するため、生産性向上や事業基盤強化に向けた設備投資を実行 ● 2026年8月に「資本コストや株価を意識した経営の実現」のアップデートを実施
人的資本経営の推進	事業戦略と連動した人的資本経営の推進	● 若手社員を中心とした採用強化プロジェクトを発足し、採用コンテンツを拡充 ● DX・AIリテラシー教育の実施や生成AI利用環境を整備 ● 図面・技術情報共有システムを導入し、技術知見の共有による技術継承に向けた体制と業務改善を推進 ● 人財定着とエンゲージメント向上のため、福利厚生を充実 ● 学習サービスの拡充による自律的なスキルアップ支援
研究開発の選択と集中	短期と中長期軸でのR&D戦略の推進	● ドローン等の無人航空機向け無線給電技術の開発に着手 ● 防衛向け要素技術の蓄積･高度化 ● 誘導加熱装置の省エネ化推進と自動化･少人化技術の開発 ● 6G関連技術（センシング・FR-3(※)）に着手 （※）FR-3：6G向けの重要な周波数領域として検討されている7～24GHz付近の上位中帯域周波数帯

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

2-3. 進捗状況③

重点施策 3 サステナビリティ経営の発展

マテリアリティ	Plan2028との関連性	2027/3期上期の主な実績
人的資本経営の推進	「考動」できる人財の育成と事業戦略に沿った最適配置	● 採用ページの充実化に向けた掲載コンテンツの拡充 国内 ● 健康増進セミナーおよび健康チェックイベントの開催 国内 ● 障がい者雇用の長期定着化を推進 単体
コーポレートガバナンスの強化	サプライチェーンマネジメントの推進	● 当社サステナビリティガイドラインの理解浸透とコミュニケーションの強化を目的に、サプライヤーアンケートを実施 国内 ● コンプライアンス研修（役員向け・従業員向け）受講率：100％ 全社 ● 標的型攻撃メール訓練および開封者向け教育の実施：2回 国内
環境経営の推進	気候変動への対応	● 温室効果ガス（GHG）排出量削減に向け、各拠点およびグループ会社にて順次再エネ導入を拡大 全社 ● Scope3の算定書式・入力方法等を見直し、作業時間約50％削減 全社 ● グリーン調達に関する顧客要求事項の調査を実施 単体
事業の持続的成長と発展	事業を通じた社会貢献	● バス車内の安全確保の取り組みとして「AI搭載型乗合バス車内事故防止システム」を開発し実証実験中（⇒詳細は P.25） ● 国家資格取得に向けた取り組みの推進 単体
イノベーションの推進	事業を通じた社会貢献／研究開発の選択と集中	● AIソリューションの社会実装の進展（⇒詳細は P.26） ● 知的財産に関する教育の実施 単体 ● 産業財産権出願・取得に向けた推進 単体

対象範囲： 単体 単体のみ 国内 単体・国内グループ会社 全社 海外含めたグループ全社

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. トピックス

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

海上自衛隊：えびの送信所の設備更新に向けた詳細設計を受注

➢ 基本設計に続き受注。建設・保守運用で培った技術と知見を活用

■ 受注概要

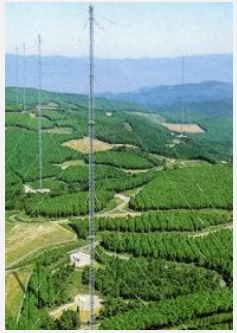
- 運用開始から約30年が経過した施設の老朽化に伴う設備更新
- 令和5年度の基本設計に続き、詳細設計を受注

■ 当社の強み

- 現施設のアンテナ建設施工の経験・技術力
- 30年以上にわたる同施設の保守運用実績
- 設備更新・維持監視を通じた知見の蓄積

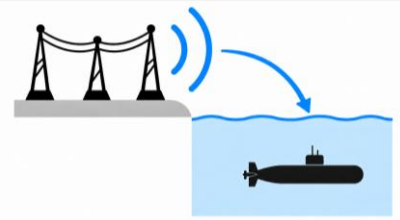
えびの送信所について

- 宮崎県えびの市にある海上自衛隊の送信施設
- 大型アンテナで潜水艦へ情報を送信



超長波（VLF）とは

- 波長が長く、海中にも届くため、潜水艦への送信に使用



建設・保守運用の知見を活かし、防衛設備関連事業の受注拡大を目指す

関連リリース　　：防衛省より令和５年度「潜水艦放送系送信設備に関する基本設計」業務を受注（2023年11月29日リリース）
施設・電波の解説：海上自衛隊、総務省ほか

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. トピックス②

高周波関連事業の市場開拓を推進

➢ 「サーモテック2026」で少人化・省エネ・省スペース化に向けた新技術を提案

■ サーモテックとは

日本工業炉協会主催、**4年に1度**のアジア最大規模の工業炉展
会期：2026年9月9日～11日（東京ビッグサイト）/ 出展：185社



■ 展示内容

作業者の負担軽減、設備の省スペース化の最新技術を展示

段取り替えを自動化したコンセプトモデル
（加熱コイル、治具、ジャケット）

省エネ小型高周波電源装置

3Dプリンタ製加熱コイル





■ 来場実績

当社ブース	新規顧客	プレゼン聴講者
814名	311名	142名

新規顧客へのフォローを進め、新たな支援機会を創出

関連リリース：「サーモテック2026」出展のご案内（2026年7月14日リリース）
note　　：「サーモテック2026」出展レポート

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. トピックス③

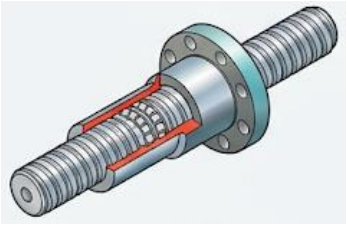
EV・HV向け『ボールねじの焼入焼戻設備』を展開

➢ 独自技術による短時間加工と自動化で、EV・HVブレーキ部品の供給体制を支援

■ ボールねじの用途と求められる品質

用途

電動油圧ブレーキの
キーパーツ
(安全性・応答性の向上)



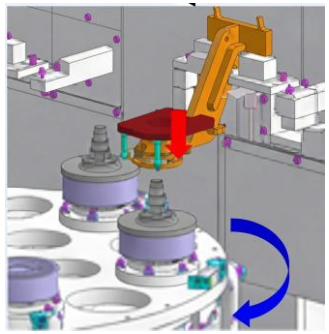
品質

高精度かつ均一な熱処理により
歪みを抑えた加工を実現

**短時間加工と自動化で
お客様の量産体制を支援**

■ 当社設備の特徴





自動化	ロボットによる工程の自動化
短時間加工	加工サイクルの短縮と品質を両立
品質管理	熱処理品の全数検査に対応
段取り替え短縮	加熱コイル・治具を効率的に交換

高付加価値製品として、将来の成長と利益への貢献を目指す

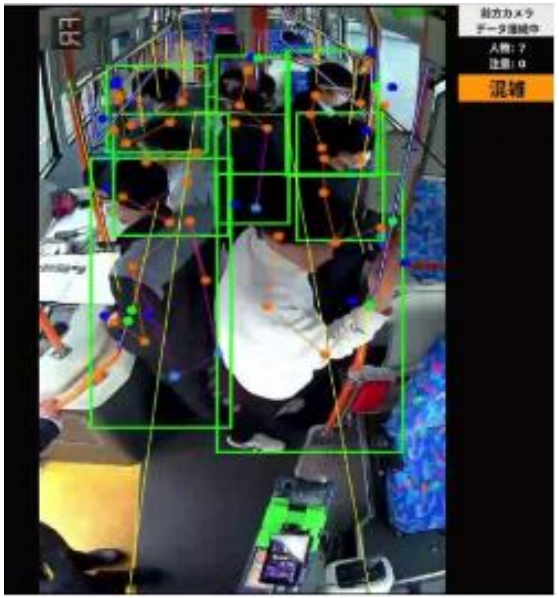
© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. トピックス④

AIによるバス車内事故防止システムの実証を推進

➢ ㈱サイバーコアと日野自動車㈱が共同開発し、運転士の安全確認を支援

■ AIによる乗客の姿勢解析



検知画面：AIが乗客の骨格・姿勢を解析

■ 検知から注意喚起まで

1 車内カメラで撮影
前方・後方のカメラで乗客を捉える

2 車載AIで不安定な姿勢を判定
車内映像をリアルタイムに解析

3 画面・音声で通知
運転士への注意喚起により、車内事故低減を目指す

大手バス事業者6社で実証実験
2026年9～12月 ／ 首都圏・東海・関西

車内事故の低減効果を検証し、2027年の商用化を目指す

関連リリース：サイバーコアの高速エッジAIを用いた「AI搭載型乗合バス 車内事故防止システム」が日本バス協会主催の実証実験に採用（2026年9月7日リリース）
日刊工業新聞（2026年10月14日発行）ほか

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. トピックス⑤

AIソリューションの社会実装の進展

➢ AIで現場を可視化・効率化し、地域の意思決定とサービス向上を支援

■ 展開地域



■ 導入・実証の時系列

（一部抜粋）●‥電気興業 ●‥サイバーコア

2023年	1	3月（運用開始）	盛岡市・市街地（AI人流・交通分析）
2024年	2	9月（運用開始）	高知市・商店街（AI人流・交通分析）
	3	9月（運用開始）	平泉町・図書館（蔵書点検クラウドシステム）
2025年	4	1月（実証実施）	静岡市・港湾（サーマルカメラによる自動検知技術）
	5	5月（実証実施）	盛岡市・商業施設（FlowEye®による来店傾向解析）
	6	10月（実証実施）	盛岡市・道路（StreetEye®による道路損傷検知）
	7	10月（実証実施）	常滑市・空港（BehaveEye®による顧客動向解析）
2026年	8	3月（運用開始）	那須町・町役場（AI電話対応）
	9	4月（運用開始）	福島市・市街地（AI人流・交通分析）
	10	6月（調査開始）	北上市・鉄道駅（BehaveEye®による乗り換え調査）
	11	9月（販売開始）	大船渡市・地域企業（クマトリガー）

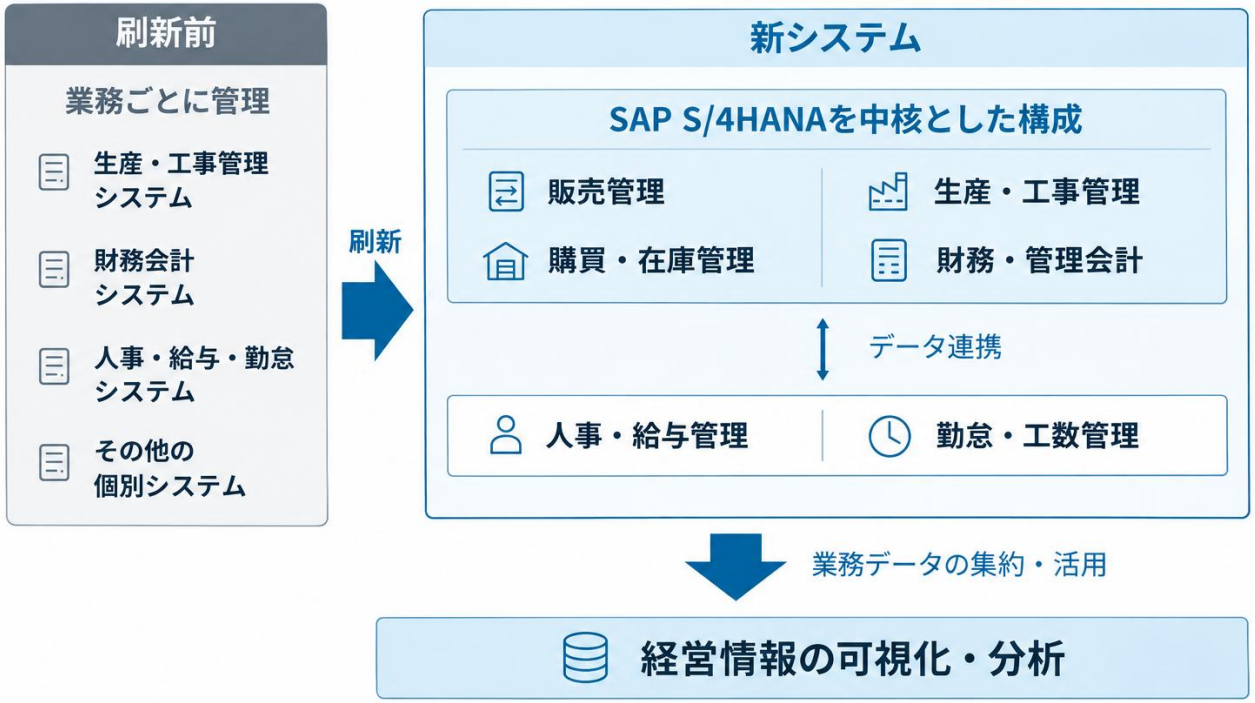
導入・実証で得た知見を活かし、地域サービス向上と活用領域の拡大を目指す

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

次期基幹システム刷新プロジェクトを本格展開

➢ 将来の成長に向けた戦略投資として、業務標準化とデータ活用を推進

基幹システム刷新イメージ



※ 業務・データの連携関係を簡略化した概念図です。詳細仕様や一部の周辺システムは省略しています。

刷新の目的

1. 経営情報の可視化と意思決定の迅速化
2. 部門間のデータ連携と業務効率の向上
3. 継続的な業務改革を支える基盤の整備

2029年4月の本稼働を目標に、成長を支える経営基盤を構築

関連リリース：次期基幹システム刷新プロジェクトを本格展開（2026年11月10日リリース）

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主優待制度を導入

➢ 当社オリジナルカタログから、優待品または寄付を1点選択

■ 保有株数・保有期間別の優待額

対象：毎年3月31日現在、100株以上を保有する株主様

保有株式数	継続保有 3年未満	継続保有 3年以上
100株以上 300株未満	2,000円相当	3,000円相当
300株以上 500株未満	4,000円相当	5,000円相当
500株以上	6,000円相当	7,000円相当

※継続保有3年以上：同一株主番号で毎年3月31日に100株以上の保有が4回以上連続して株主名簿に記載または記録されていること

■ 優待品の一例

当社ゆかりのある地域の商品などを用意








※詳細は決まり次第お知らせいたします。

※掲載画像は一例です。優待品は変更となる場合があります。

当期は2027年3月31日現在の株主様を対象に実施

関連リリース：株主優待制度の導入に関するお知らせ（2026年8月7日リリース）

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご参考：開示情報（リリース）

新製品・技術開発

- 2026/7/8　総務省「地域社会DX推進パッケージ事業（AI検証タイプ）」成果報告書が公開
- 2026/7/8　総務省 四国総合通信局が調査検討報告書を公表 ― 当社が事務局として支援 ―
- 2026/7/22　㈱サイバーコア プラットフォームの一般試用提供開始
- 2026/8/7　㈱サイバーコア BehaveEye®実証PJが「ライトハウス枠」に選定
- 2026/9/4　総務省「基盤技術研究開発事業（FORWARD）」に愛媛大学との共同提案が採択
- 2026/9/7　㈱サイバーコア 「AI搭載型乗合バス 車内事故防止システム」が日本バス協会主催の実証実験に採用

市場開拓

- 2026/7/9　第7回「地域×Tech東北」出展のご案内
- 2026/7/14　「サーモテック2026」出展のご案内
- 2026/8/13　㈱サイバーコア Advantech Edge AI Day Japan 2026 出展およびReIDセミナー開催
- 2026/9/8　「AI・DXソリューション展示会2026」出展のご案内
- 2026/9/15　「危機管理産業展（RISCON TOKYO）2026」出展のご案内

外部媒体掲載

- 2026/7/13　㈱サイバーコア クマトリガーが東海新報・岩手日報に掲載されました
- 2026/8/7　自治体通信Onlineおよび『自治体通信Vol.75』に「AI電話対応サービス」が掲載されました

経営基盤強化・ESG

- 2026/8/20　デンコーテクノヒート㈱ 鈴鹿工場の移転新設を決定
- 2026/8/25　令和８年熊本地震による被災地・被災者への支援について
- 2026/9/30　サステナビリティレポート2026を開示しました

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

APPENDIX

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

27/3期 第2四半期 連結業績（参考値）

（百万円）	26/3 上期実績	27/3 上期実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	14,914	**16,531**	1,617	10.8%
売上原価	11,826	**13,622**	1,795	15.2%
売上総利益	3,087	**2,909**	-178	-5.8%
販売費及び一般管理費	3,076	**2,985**	-90	-2.9%
営業利益	11	**-76**	-87	-
営業利益率	0.1%	**-0.5%**	-	-
経常利益	-61	**153**	215	-
経常利益率	-0.4%	**0.9%**	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	143	**1,535**	1,392	969.7%

【注】上記の数値については現時点で当社が認識している事実を踏まえた参考値となります。
各期の業績数値は、現在継続している特別調査委員会による調査結果や会計監査人の監査結果等により、修正される可能性があります。

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績予想に関する注意事項

- 本資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、予想値と異なってくる可能性があります。

- かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更等が含まれます。

- 資料に記載している2027年3月期第2四半期業績や過年度の業績数値等については、現時点で当社が認識している事実を踏まえた参考値であり、一定の前提および仮定の下で、当社経営陣の判断に基づいて記載している未確定かつ暫定的な情報です。そのため、これらの情報は現在継続している特別調査委員会による調査結果や監査法人の監査結果により、資料の内容は修正される可能性があります。

電気興業株式会社

お問い合わせ先　経営企画部　経営企画課
TEL　03-3520-8304
E-mail　ir@denkikogyo.co.jp

© 2026 DKK Co., Ltd. All Rights Reserved.